

21番 西 菌 美 恵 子 議 員

1 「面会交流」と「市区町村子ども家庭総合支援拠点」について

- (1) 離婚後、親子が定期的に会う「面会交流」がコロナ禍でストップしている今、本市として早急の対策が必要と考えるが見解を示されたい。
また、DVがある場合は、直接の受け渡しが困難である。あらゆる環境の子どもを想定し、「面会交流」の場として、「鹿屋市子育て交流プラザ」等の公共施設を活用する考えはないか。
- (2) 全ての子どもとその家庭及び妊産婦の権利を擁護し、特に要支援児童等の支援業務強化を図る「市区町村子ども家庭総合支援拠点」についての本市の取組の状況と課題について示されたい。

2 認知症高齢者の施策について

- (1) 最近、市内外を問わず行方不明者（特に認知症の高齢者の徘徊）が多発しているが、現状とGPSの効果及び今後の課題について示されたい。
- (2) 早期発見、保護のツールとして、低予算で簡単な「見守りシール」というQRコードを使用し、個人情報を開示することなく身元照会をするシステムがあるが、導入についての見解を示されたい。